

# 東京大学 公開講座

第135回 2022年秋季

# 境 界

11/12 SAT /  
融ける

11/19 SAT /  
隔てる

11/26 SAT /  
超える

**対象** 成人一般・大学生・高校生

**定員** 各日200名(現地参加・安田講堂) / 各日3,000名(オンライン参加)

**受講料** 各日2,100円(現地参加) / 無料(オンライン参加)

**申込方法** <https://www.u-tokyo.ac.jp/publiclectures/entry.html> よりお申込ください。

**お問合せ  
フォーム** [https://www.u-tokyo.ac.jp/contact/news\\_mail\\_j.php?dir=h-0301&sd=1](https://www.u-tokyo.ac.jp/contact/news_mail_j.php?dir=h-0301&sd=1)

●電話：03-3815-8345 (受付時間：平日9:00~12:00 / 13:00~17:00)  
〒113-8654 東京都文京区本郷7-3-1 東京大学 本部社会連携推進課



※やむを得ない理由により、プログラムを休講する場合があります。予めご承知おきください。

第135回 2022年秋季  
東京大学公開講座

## 開講にあたって



第135回東京大学公開講座  
企画委員会 委員長  
**山本 隆司**  
(法学政治学研究科長)

境界は、ものごとや領域を分ける働きを持ちます。森林と平地の境界、細胞の境界など、自然界には様々な境界があります。境界は人間社会においても、同質的な存在をひとくりにまとめ、異質な存在との間に線を引いてきました。例えば、「社会」それ自体が、「我々」と「他者」を分ける境界によって定義されています。

そして昨今、境界は改めて重要なテーマとして注目を浴びています。

例えば国境は、ひとつの統治権力と、別の統治権力の境界です。国境の現状維持は第二次世界大戦後の国際秩序の基礎でしたが、2022年2月にロシアが国境を越えてウクライナに侵攻したことは、そのような前提を大きく揺るがすものでした。秩序をもたらす境界をいかに維持するのかは、現代の課題であり、学問的な問いでもあります。

他方で、ジェンダーという社会が設ける性の境界もあります。生物学的に見ても実に多様な性を持つ人間を、男性と女性の二つの集団に分け、男らしくあれ、女らしくあれと要求するジェンダー規範は、実は人々の自由を縛るものではないでしょうか。こうした認識に基づいて、東京大学は目下、ダイバーシティ&インクルージョンに精力的に取り組んでいます。

2020年春以来のコロナ禍もまた、境界の問題といえます。新型コロナウイルスは、動物と人間の境界線を破るとともに、人体という境界を超えて体内に侵入し、閉鎖された国境を跨いで世界的に拡散しました。社会における防疫と、身体における免疫は、ともに、境界線を守ろうとする機能だと考えることもできます。

このような例について考えるだけでも、境界は実に多くの学問分野と関わっていることが分かります。そして、学問研究によって、境界が認識されるだけでなく、自然界や人間社会における様々な境界が動いたり、融けたりすることもあります。そこで、本公開講座では、複数の分野における境界についての考え方や、研究の成果を俯瞰することで、総合的な知の形成を目指します。

どの境界は維持されており、どの境界は変わりつつあるのでしょうか。境界を融解する力、隔てる力、超える力は、それぞれどのように生じ、作用するのでしょうか。こうした問いに対して、人文・社会科学および自然科学の間に築かれてきた境界それ自体を超えて取り組むのが、本講座の目的です。

# 11月12日(土)「融ける」

12:50～13:00 開講の挨拶 企画委員長／法學政治学研究科長 山本 隆司

13  
..  
00  
} 13  
..  
40  
13  
50  
} 14  
..  
30  
14  
40  
} 15  
..  
20  
15  
35  
} 16  
..  
25

## 自然科学と人文社会科学の境界

教育学研究科 教授  
隠岐 さや香

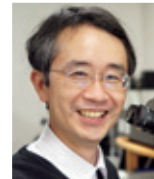
日本では人文社会科学と自然科学の区分が大学受験制度と強く結びついており、「文系と理系」という呼称で両者の境界が意識されやすくなっています。このような状況がどのように出来上がってきたのかを科学思想史の視点から考察します。



## 植物と動物の融合から生じる研究と倫理の境界

新領域創成科学研究科 教授  
松永 幸大

私達は藻類と動物培養細胞を融合させて、両方のDNAを持つ細胞を創り出しました。自然界に存在しない細胞が世界中で創られ始めています。動物細胞が光合成できれば我々にとってどんなメリットがあるのか、研究と倫理の境界から議論します。



## 細胞の境界、細胞膜と脂のお話

薬学系研究科 教授  
青木 淳賢

“脂質”とは油のことです。ただ、石油やガソリンなどの鉱物から取れる油は脂質とは呼ばず、動物、植物由来の油のことを意味します。皆さんは“脂質”といったら何を想像しますか？一般的に最も興味を引くのは栄養素としての脂質ではないでしょうか？本講座では、私たちに身近な存在であり、その過剰摂取は生活習慣病などを引き起こしてしまう“脂質”について、栄養素、細胞膜の構成成分、情報伝達物質としての役割をお話したいと思います。



## 総括討議

総合文化研究科 准教授  
遠藤 智子

隠岐 さや香／松永 幸大／青木 淳賢



# 11月19日(土)「隔てる」

13  
..  
00  
} 13  
..  
40  
13  
50  
} 14  
..  
30  
14  
40  
} 15  
..  
20  
15  
35  
} 16  
..  
25

## 国の「競争力」と貿易利益:「競争力」のフラクタル構造

経済学研究科 教授  
古澤 泰治

国際経済の中での国の競争力はどう測れば良いのでしょうか？地方の競争力、企業の競争力、個人の競争力との共通点と相違点はどこなところでしょうか？競争力と貿易利益というレンズを通して、近年の日本経済を振り返ります。



## 「境界」を巡るウクライナ侵略戦争

法學政治学研究科 教授  
遠藤 乾

衝撃的なロシアによるウクライナ侵攻は、何重もの意味で「境界」にかかわりました。国境を越えた侵略はもちろん、帝国の瓦解、言語や民族の境界、NATOの東漸、さらに、ウクライナのEU加盟など、この講座では、そうした複数の「境界」を取り上げ、この戦争について検討したいと思います。



## 農地と森林の境界:農業限界地の環境造林

農学生命科学研究科 准教授  
則定 真利子

熱帯地域を中心に続いている森林の劣化・減少の現状とその背景を概説し、農業限界地における持続的・生物生産システムの確立のための環境造林について、樹木の有する環境適応力に触れながら、荒廃熱帯低湿地における事例を紹介します。



## 総括討議

先端科学技術研究センター 教授  
近藤 高志

古澤 泰治／遠藤 乾／則定 真利子



# 11月26日(土)「超える」

## グローバル化と国境なき感染症対策

医学系研究科 教授  
Moi Meng Ling



地球温暖化、グローバリゼーション、生体の環境破壊の様々な地球上の課題の日々積み重ねていくことで、パンデミックの発生は私たちの身の回りの事柄と深く関係しています。本講座では、パンデミック発生と関連する原因について説明したのち、最新の疫学調査研究により、ポストコロナ時代における新興・再興感染症感染症と共存する社会の在り方と対策法について紹介します。

13  
..  
00  
~  
13  
..  
40

## 移民からみる境界の現代的変容

人文社会系研究科 准教授  
高谷 幸



国境を越える移民は、社会の分断を引き起こす存在として警戒される一方で、多様性を牽引し、トランスナショナルな社会を創り出してもきました。移民を通して現代における境界の変容について考えてみたいと思います。

13  
..  
50  
~  
14  
..  
30

## オスとメスの境界を越える魚たち

農学生命科学研究科 教授  
大久保 範聡



性別は生まれつき決まっています、変わることがありません。魚の性別を研究していると、この認識が正しくないことを思い知らされます。オスとメスの境界を軽々と越える魚たちを紹介しつつ、オスとメス、男と女の境界について考えてみます。

14  
..  
40  
~  
15  
..  
20

## 総括討議

法学政治学研究科 教授  
宍戸 常寿



Moi Meng Ling / 高谷 幸 / 大久保 範聡

15  
..  
35  
~  
16  
..  
25

16:25 ~ 16:35 閉講の挨拶 執行役・副学長 津田 敦

## 受講方法

現地参加(安田講堂)とオンライン参加で申込方法や注意事項が異なります。  
次ページ以降の各参加方法の詳細を必ずご確認くださいのうえ、お申込、受講をお願いします。

### 【現地参加(安田講堂)】

- WEB申込・受講料お支払い
- 10月11日(火)13時～  
各講義日の直近水曜日12時まで
- 定員:各日200名

当日、安田講堂にお越しください。

### 【オンライン参加】

- WEB申込
- 10月11日(火)13時～  
各講義日まで
- 定員:各日3,000名(上限)

当日、パソコン(推奨)またはスマートフォン・タブレットでご視聴ください。

# 受講申込方法

## 現地参加(安田講堂)

【受付期間】10月11日(火)13時～各講義日の直近水曜日12時まで

1日目:～11月9日(水)12時/2日目:～11月16日(水)12時/3日目:～11月23日(水)12時

定員に達した場合、受付期間中でも締切になります。

【定員】各日:200名

【受講料】各日:2,100円

入金後の受講料は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況により現地参加を取りやめとした場合を除いて返金できませんのでご注意ください。

【申込方法】インターネット・携帯サイトからのお申込のみとなります。

東京大学公開講座のWebサイトにアクセスし、所定の手順に従ってお申込ください。

<https://www.u-tokyo.ac.jp/publiclectures/entry.html>

(東京大学ホームページ → 社会連携 → 一般見学・公開講座案内 → 東京大学公開講座)

オンライン参加と間違えてお申ししないようご注意ください。

【支払方法】クレジット決済、コンビニ決済のどちらかを選択いただけます。

クレジット決済のお支払い回数は、1回払いのみとなります。

1 東京大学公開講座のWebサイトから第135回公開講座申込「こちら」をクリックし、お申込画面に必要事項を入力の上、『クレジット決済』か、『コンビニ決済』のどちらかを選択します。



2

### クレジット決済

お申込内容をご確認のうえ、  
カード情報をご入力ください。

### コンビニ決済

お申込内容をご確認のうえ、  
お支払するコンビニを選択してください。



3

決済が完了しましたら、  
クレジット決済完了メールが届きます。

申込完了メールが届きます。Web画面上で表示されたお支払情報を印刷、もしくはメモしてください。「お支払い方法はこちらへ」をご確認いただき、選択しましたコンビニのレジにてお支払いください。



4

当日は以下のメールをご持参し、会場での受付時にご提示ください。  
決済完了メール or 支払い完了を証明するもの。もしくは「受領証」が記載されたメール

※身分証明できるものをご提示いただく場合がございます。

身分証の例(運転免許証、運転経歴証明書、住民基本台帳カード、社員証、学生証、保険証、住民票、クレジットカード・キャッシュカード(氏名表記のあるもの)、公的料金証明書(支払い名義が本人のもの)など)

※注意:システムのメンテナンスを実施している期間には、お申しいただけません。

東京大学公開講座のwebサイトに「受講規約」「新型コロナウイルス感染症防止対策」を掲載しておりますので、必ずご確認ください。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況により、現地参加を中止することがあります。

この場合webサイトに掲載します。

## 【会場へのアクセス(現地参加のみ)】

東京メトロ丸ノ内線 本郷三丁目駅 / 都営大江戸線 本郷三丁目駅 /  
東京メトロ千代田線 湯島駅・根津駅 / 東京メトロ南北線 東大前駅



## オンライン参加

【受付期間】10月11日(火) 13時～ 各講義日まで

定員に達した場合、受付期間中でも締め切る場合があります。

【定員】各日:3,000名(現地会場には入場できませんので、ご注意ください。)

【受講料】無料

【申込方法】インターネット・携帯サイトからのお申込のみとなります。  
東京大学公開講座のWebサイトにアクセスし、所定の手順に従ってお申込ください。  
<https://www.u-tokyo.ac.jp/publiclectures/entry.html>  
(東京大学ホームページ → 社会連携 → 一般見学・公開講座案内 → 東京大学公開講座)  
現地参加と間違えてお申込をしないようご注意ください。

【視聴方法】Zoomウェビナーでの視聴となります。

- 1 東京大学公開講座のWebサイトからオンラインの第135回公開講座申込「こちら」ボタンをクリックいただき、必要事項を入力の上、お申込ください。
- 2 お申込が完了しましたら、受付完了メールが届きます。  
受付完了メール中に、各講座の視聴用URLが含まれていますので、当日まで大切に保管してください。
- 3 当日は、受付完了メール中の視聴用URLをクリックし、メールアドレスと表示名を入力の上、Zoomウェビナー上で講座にご参加ください。  
※Zoomウェビナーの使い方は、東京大学公開講座のWebサイトから、『参加のための事前準備(PDF)』をご参照ください。

# 案内・注意事項

## 共通

### ▶ 講義当日

現地開場は12時、オンライン開場は12時30分を予定しています。  
やむを得ない理由により、プログラムを休講する場合があります。

### ▶ 撮影・録音・録画

本講座の撮影(スクリーンショットを含む)・録音・録画および資料の2次利用、詳細内容のSNSへの投稿は固くお断りいたします。  
講演内容の盗用が発覚次第、著作権・肖像権侵害として対処させていただきます。

## 現地参加

### ▶ キャンセル・返金

お申込後のキャンセルはできません。入金後の受講料は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況により、現地参加を中止とした場合を除いていかなる場合も返金できません。

### ▶ その他注意事項

講堂内でのお手荷物の紛失、盗難等について、主催者は一切責任を負いかねますので、受講者ご自身で管理をお願いいたします。  
講堂内での飲食はできません。また、会場内にゴミ箱はありませんのでゴミはお持ち帰りください。  
各講座日終了後2日以内にご本人が新型コロナウイルス感染症と診断された場合には、速やかに東京大学本部社会連携推進課(次ページ)までご報告ください。感染者情報および参加者状況として、受講者の名簿を本学の管理部門へ提出することがございますので、あらかじめご了承ください。  
現地会場では常時マスクを着用してください。マスクを着用しない場合や、現地会場での検温の際、37.5度以上の発熱をしている場合には入場をお断りいたします(受講料は返金できません)。  
障害等のため配慮が必要な場合は、開催日の3週間前までにご連絡ください。

## オンライン参加

### ▶ 通信環境

パソコン(推奨)または、スマートフォン、タブレットでご参加・ご視聴ください。スマホなどのモバイル通信では、通信量が膨大となり、高額な通信費用が発生する場合がございますので、必ずご自身の通信環境の契約内容をご確認のうえご参加ください。

# 修了証書

現地参加で2日以上申込された方には、ご希望により修了証書を交付します。

修了証書を希望される方は、お申込画面で「修了証書を希望する」にチェックのうえ、修了証書送付先の住所をご入力ください。

※オンライン参加については修了証書は交付できません。

※発送に1ヶ月以上かかります。何卒ご了承ください。



## よくあるご質問

### Q「 難易度はどのくらいですか? 」

講義内容の多くは初心者でも分かるものですが、一部専門知識を有する方向けの内容も含まれます。公開講座の受講者は、初心者から専門知識を持つ方まで、様々です。

### Q「 修了証書はオンライン受講でももらえますか? 」

オンラインでの受講の場合は交付しておりません。現地参加で2日以上申込された方のうち、希望された方に交付しています。

### Q「 事前に申込をしていますが、受講できますか? 」

事前のお申込が必要です。東京大学公開講座のWebサイトからお申込ください。

### Q「 休講する場合がありますか? 」

台風などの荒天や交通機関のストライキ、新型コロナウイルス感染症の感染拡大などにより、やむを得ず休講とすることがあります。この場合、前日の午後5時までに、本学Webサイトに掲載いたします。Webサイトをご覧いただけない場合は、お手数ですが電話でお問合せください。また、講師の急病・事故等により、やむを得ず休講とすることもあります。

### Q「 講座の内容を録音・録画・撮影することはできますか? 」

講座の録音・録画・撮影等は、固くお断りいたします。すべての講座ではありませんが半年以降に東大TV (<http://today.tv/>) でご視聴できます。

### Q「 Webサイトでの申込が難しいのですが、Webサイト以外で申し込むことはできますか? 」

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、現地参加の定員を少なくしており、現地参加者数を管理するためにすべてWebサイトでの申込としております。他の方法でのお申込はできません。

次回以降、コロナ禍前の生活に戻った際には、はがき申込の実施も検討いたします。

### Q「 現地参加の身分証として使えるものは何がありますか? 」

現地参加の受講申込方法をご覧ください。リストに記載のないものでも受講されるご本人の氏名が分かるものであれば、身分証として有効です。不明な場合は、お問合せください。

### Q「 友人や家族の分を申し込むことはできますか? 」

代理申込はご遠慮ください。トラブルの原因になりますので、原則、受講されるご本人がお申込ください。

## お問合せ

東京大学本部社会連携推進課

ext-info.adm@gs.mail.u-tokyo.ac.jp

03-3815-8345 受付時間：平日9:00～12:00/13:00～17:00

テレワークのため、電話に出られない場合があります。  
なるべくeメールでお問合せ願います。